

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
568 各種災害に対応する自動車購入事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
基本方針	2	常備消防力の強化

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	消防組織法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	井本 博隆 (428-0119)	
関連課			

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防施設費	
	大事業		消防施設事業	
事項		各種災害に対応する自動車購入事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	複雑多様化する災害現場に安全・確実・迅速に対応するため、耐用年数を経過した消防車両を更新する事業。	各種消防自動車等の購入				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		救助工作車II型の更新 消防ポンプ自動車(CD I型)の更新 高規格救急自動車の更新	大型資機材搬送車の更新 消防ポンプ自動車(塔体付き)の更新 高規格救急自動車の更新 小型動力ポンプ付積載車の導入	消防ポンプ自動車(CD I型)の更新 高規格救急自動車の更新 資機材搬送車の更新 人員搬送車の更新 指揮車の更新	消防ポンプ自動車(CD I型)の更新 高規格救急自動車の更新 指揮車の更新 広報車の更新 はしご車のオーバーホール	消防ポンプ自動車(CD I型)の更新 消防ポンプ自動車(塔体付き)の更新 指揮車の更新 高規格救急自動車の更新 広報車の更新

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	181,092	177,198	170,343	168,531	172,810		172,810		172,810		
	伸び率(%)	-	-	-5.9%		1.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,679	8,437	8,005	7,668	7,668		7,668		7,668	
		非常勤職員	101	134	101	94	94		94		94	
		小計	7,780	8,571	8,106	7,762	7,762		7,762		7,762	
	国庫支出金		50,000		42,583							
	県支出金	15,000	15,000									
	市債	138,300	85,500	143,900	89,800	145,700		145,700		145,700		
	その他	3,000	3,000	5,000	5,000	3,000		3,000		3,000		
	一般財源(税等)	24,792	23,698	21,443	31,148	24,110		24,110		24,110		
所要人数	常勤職員	1.04	1.11	1.05	1.03	1.03		1.03		1.03		
	非常勤職員	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05		0.05		0.05		
主な予算内訳		・自動車購入費 148,060千円										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	消防車両の整備数(災害現場即応車両52台のうち、耐用年数内の消防車両の台数)	年度目標値				29	29	33	32	31
		実績値				30	29			
	単位	台	全体目標値	31	全体目標達成度	93.5%	年度別達成度	103.4%	100.0%	
							年度目標値			
成果指標	消防車両の整備率(災害現場即応車両52台のうち、耐用年数内の消防車両の割合)	年度目標値				56.9	55.8	62.3	61.5	60.8
		実績値				58	55.8			
	単位	%	全体目標値	60.8	全体目標達成度	91.8%	年度別達成度	101.9%	100.0%	
							年度目標値			
						実績値				
						年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	消防機械力を強化し、防災体制の整備充実を図るためには、災害の種別に即応した消防自動車の更新は必要であり、市民の生命、身体、財産を守るため遅滞することはできません。
「見直し」 「改善」案	耐用年数を超える車両(予備車含む。)は性能低下が著しく、また修繕費の比率が大きいいため、早急に更新が必要である。